

第 57 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会  
第 336 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会

会 期：平成 30 年 3 月 11 日（日）9 時 30 分～16 時 30 分（予定）

会 場：金沢勤労者プラザ

（〒920-0022 石川県金沢市北安江 3-2-20）

JR 金沢駅西口より 徒歩 10 分

連合大会長：飯沼由嗣

金沢医科大学 臨床感染症学 教授、金沢医科大学病院 中央臨床検査部長

学会テーマ：臨床検査の新たな展開

特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、一般演題、支部総会、機器セミナー等予定

第 57 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会 第 336 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会を、平成 30 年 3 月 11 日（日）に金沢医科大学病院中央臨床検査部主幹で開催いたします。会場は金沢市の金沢勤労者プラザを予定しております。

今回学会テーマを「臨床検査の新たな展開」としました。近年、遺伝子解析や質量分析などの先進技術を取り入れた臨床検査が日常的に行われるようになってきております。微生物検査では、質量分析計が微生物迅速同定検査機器として開発され、すでに多くの施設で用いられております。また、多項目同時測定を可能とした全自動遺伝子検査機器もいよいよ認可されようとしております。これら新技術を用いた検査機器は、感染症診療の進め方にも大きな影響を及ぼし、感染症予後の改善が期待されています。また、癌診療の分野では分子標的薬が次々と開発され、コンパニオン診断としての遺伝子検査が日常的に行われております。さらに、血液中の微量な癌細胞や癌遺伝子を検出して診断を行うリキッド・バイオプシーの開発も進みつつあります。このように科学技術の進歩に伴い臨床検査も新たな展開を迎えていると考え、本連合大会のテーマといたしました。現在テーマに沿ったプログラムを検討しております。

よろしくご指導お願い申し上げます。